

## 資料1 「子どもの幸福度」ランキング 2025年5月に発表

発信元；日本ユニセフ協会、ユニセフ・イノチェンティ研究所

### 日本の順位と改善点を考察（要約、一部抜粋）

「子どもの幸福度」ランキング ユニセフ発表は、先進国の子どもたちの暮らしやすさを、健康・教育・心の状態などから総合的に評価して発表している世界的な調査結果である。

子どもたちがどれほど安心して暮らし、どれだけ未来に希望を持っているかを知るための、非常に重要な「ものさし」である。そして、日本の子どもたちが“心の面”で世界と比べて深刻な課題を抱えていることを明らかにしている。（略）

3つの分野を中心に評価している。

- ① 精神的幸福度（生活満足度や自殺率など）
- ② 身体的健康（子どもの死亡率や過体重の割合）
- ③ スキル（学力、社会的な関わりの力など）

日本はこのランキングでどの位置にいるのか？

2025年発表の「レポートカード19」では、**38カ国中14位**（前回2020年レポートカード16では20位）という結果だった。一見、中間のようにも思えるが、内訳を見てみると大きな課題が隠れている。それは、

**身体的健康：1位（非常に優秀） 精神的幸福度：32位（前回は37位：ほぼ最下位）**  
**スキル12位（前回は27位）**

身体的な健康においては、日本は世界でもトップクラスの成績を誇っている。子どもの死亡率が低く、肥満の割合も他国に比べて少ないのが特徴である。

体は元気だが、心は疲れていて、学びの場で自信を持ちにくいという現状がある。特に、精神的幸福度では、日本はとても厳しい評価を受けていて、「自分の生活に満足している」と答えた15歳の割合は、わずか62%。これは対象国の中でも下位にあたる。

また、15歳～19歳の自殺率は先進国中で最も高い水準にあり、深刻な問題である。

主な理由としては：

**学校でのストレスやいじめ、家庭での孤立感、SNSによる比較や孤独感の増加**などが挙げられる。

たとえば、東京都に住む高校生・ユウタくん（仮名）はこう話している。

「いい大学に入ることが大事ってずっと言われてきて。でも、将来にワクワクできる気持ちは、最近どんどん小さくなってる感じです」

このような「見えにくい心の負担」にどう向き合うかが、日本の課題である。

## 子どもの幸福度ランキング ユニセフ関連資料（要約、一部抜粋）

資料は、ユニセフおよび関連する公的機関の公式データや報告書をもとに正確で最新の情報で構成されている。

### ① 学校給食のバランスの良さ ②歩いて通学する文化 ③健康診断の徹底

上記の ①②③ の内容は、先進国の中で、日本教育特有の「強み」と指摘している。ただし、近年ではスマホやゲームの影響で運動不足が増えているとのことで、注意が必要である。

学びの場で引き続き望むこととして、下記が挙げられる。

- ・体験型の学びの導入
- ・グループ活動を通じた協調性の育成
- ・自分の意見を発表する機会の増加
- ・小学校で行われている「道徳」の授業

他国との比較から見える日本の位置づけ

「子どもの幸福度ランキング ユニセフ発表」の上位に名を連ねるのは、オランダ・デンマーク・ノルウェーなど北欧の国々です。これらの国々に共通するのは、

**「子どもの声がきちんと政策に反映される社会」であること** である

たとえばオランダでは：

放課後に自由な時間が多く、親子で過ごす時間も長いし、  
学校でも子どもの気持ちを聞くカウンセラーの制度が整っている。

一方、日本では「勉強や進路が優先されすぎて、子どもの気持ちが後回し」という傾向が強く見られる。つまり、経済的な豊かさがあった上で、子どもの心の満足感をつくるという風習や文化がある。

改善のために求められる行動は次の通りです。

- ・学校に常設の相談窓口を設置し、カウンセラーを拡充
- ・スマートフォン依存やSNSによるストレスへの情報リテラシー教育
- ・授業中に「心の健康」について学ぶ時間の導入。たとえば、小学生のミナちゃん（仮名）は「週に1回、担任の先生と10分だけでも話す時間があってうれしい」と話してくれた。子どもが安心して本音を話せる場を持つこと、それが第一歩である。

## 資料 2

# 五条川 と き め き 未 来 寄 合

## - い わ く ら し や す い ま ち づ く り -

地域と(と)けあい 想いを(き)きあい 考えを(め)ぐらせ (き)ぼうをもって学べる子

今までの学校は、学校内で必要な学びのためにその道のプロフェッショナル(講師)を呼び、学びを吸収していきました。そして、その学びを終えると別の学びのために新たなプロを呼び、知識を吸収していきました。

今、子どもたちには、『自ら必要な学びを獲得していく学びの力』と『これからその学びをどう生かすかという絶えず学び続ける力(探究する力)』が求められています。



五条川小学校では、

<岩倉の魅力を発信したい><岩倉の福祉をより充実させたい>

<岩倉の文化を学び、継承していきたい><岩倉の環境をよりよくしていきたい>など、

『いわくらしやすいまちづくり』をテーマに、学校で子どもも地域も岩倉市がよりステキなまちになるように、学び続ける場(探究し続ける場)を作りたいと考えています。

地域とつながり、子どもたちが本気で『まちづくり』を考え、その子どもたちが大人になったとき、私たちの想像をはるかに超えたステキなまちが創られていくと思いませんか？

第1回では、以下のような想いが子どもたちから発信されました。

1年生…ちいきのみんなのできる、むかしのあそびをもっとしりた

2年生…いわくらのいいところをもっと見つけたい、知りたい(まち探検を通して)

3年生…岩倉のステキを探そう、発信したい(伝統文化の視点から)

4年生…だれもが楽しく、幸せになれるまちづくりがしたい(福祉の視点から)

5年生…もっともっとたくさん岩倉の魅力を発信したい

6年生…地域ととけあう。今、岩倉の課題から私たちにできることをしたい

これらの想いをさらによりよくするために、地域の皆様の協力が必要です。



参加 QR はコチラから



これからの日程

第2回 9月19日(木) 第3回 10月24日(木) いずれも13時30分

第4回 12月12日(木) 第5回 1月30日(木) ~14時20分まで

場 所 : 五条川小学校 図書館 もしくは 体育館・会議室(人数によります)

また、これらの内容を発表する機会を『五条っ子フェス』と題し、3月1日(土)午前中【※詳細は後日】に行います。ぜひご参加ください。

## 資料3

## ときめき未来寄合 (記録 一部より)

- (1) 来年度の五条っ子フェスに向けて 子ども、教員、地域、保護者、行政が一つになって「やりたい」「面白そう！」を対話しました。ワクワクするアイデアがたくさん生まれました。
- (2) 五条っ子フェスに向けて 6年生の一部の児童を中心にちっちゃい菜の普及についての調査、レシピ研究そして発表を行う過程で、五条っ子フェス会場にて商工農政課が学校でちっちゃい菜としょうゆ漬け販売したところ、保護者と地域の人等の参加者が買い求め 150 個が 30 分で売り切れた。とか、5月の五条川コミュニティ親子スポーツデイ会場においても同様な販売実績となり、子どもたちの研究・発表が保護者、地域の人への関心を高める効果が表れていると思われる、この例を他の市内学校に多く活用できないか?

## 資料4

## 新聞への投稿の一部

## 発表通じ 岩倉愛アップ

（愛知県岩倉市）12歳 小学生の総合的な学習は「まちづくり」がテーマでした。自分たちが考えたのは「桜祭りアゲアゲ企画隊」です。愛知県岩倉市の桜祭りをもっと盛り上げたいという気持ちを込めて考えました。

内容の一つ目は、屋台の値段の改善です。小さい子でも手が届く価格にすることで、もう少し利用しやすくなると思いました。二つ目は、桜祭りにゲストを呼ぶこと

です。ゲストを呼べば、それが気になっていろんな人が来てくれて、桜祭りが盛り上がるのではないかと考えました。

6年生の自分たちで最初から最後まで考えた内容を、いろんな人に発表するということは、とても珍しいと思います。このようなことをする学校はほとんどないだろうから、貴重な体験をさせていただいたと思います。僕は岩倉市がもっと好きになり、もっと岩倉市に住んでいたいと思いました。

## 友達とプレゼン 大成功

（愛知県岩倉市）12歳 小学校で総合学習に取り組み始めたばかりのころは、どのように始めればいいのかかわからず、困惑していました。でも学習を進めていくと、自分たちがやるべき道が開いていくように感じました。話し方を柔らかくしたり、掛け合いなどのポイントを探るようになっていきました。

中学生

（愛知県岩倉市）12歳 小学校で総合学習に取り組み始めたばかりのころは、どのように始めればいいのかかわからず、困惑していました。でも学習を進めていくと、自分たちがやるべき道が開いていくように感じました。話し方を柔らかくしたり、掛け合いなどのポイントを探るようになっていきました。

## 悩み楽しんだ総合学習

（愛知県岩倉市）12歳 小学校の総合的な学習の時間は、まちづくりがテーマでした。その中でも観光というテーマを選びました。学習を通して、一つのことを真剣に考えて悩んで、楽しむということを学びました。

私は一つのことを大きく学ぶのが苦手で、後半くらいになると突然めんどくさいという気持ちが出てしまします。そこで中断して

（愛知県岩倉市）12歳 ははっきりはわかりませんが、「楽しかった」ということもあると思います。

この学習をいろいろな人に伝えるとき、私は声の大きさとはっきり読むこと、楽しむことを特に注意しました。本番になると緊張してはつきり読むことが難しくなり、聞き取りにくい話し方になってしまいました。こういう失敗を次に生かしたいです。この失敗

愛知県岩倉市の五条川小学校の総合的な学習の時間で私たちのグループはスタンブラリーを使って飲食店からまちを盛り上げる「みんなで押し飯大作戦」という企画を考えました。学習を通して成長したと感じる点は二つあります。一つ目は、自分のまちの魅力に気付くことができたことです。略

二つ目は、目標達成のため仲間と協力できたこと

## 資料5 広報いわくら 3月号

岩倉市が展開する子育て支援施策「こどもまんなかアクション」を全6回で紹介します。

ACT.3 内面重視! **メタバース婚活**

問合せ先 こども家庭課子育て支援グループ (☎38-5810)

岩倉市こどもまんなかアクションはこちらから!

アイスブレイクのダンスで緊張がほぐれました!

1対1でのトーク中は、他の参加者の声は聞こえないので、周りを気にせず、会話を楽しみました!

見事、3組がマッチングしました!

Virbela@GAIA TOW

岩倉市のこどもまんなかアクションは若者への施策からスタートしているのが特徴です。結婚を望む人の出会いから結婚へ至るまでの寄り添った支援を行っています。2月2日(日)に、県内初となるメタバース空間での婚活イベントを行いました!

部屋に飾られた岩倉市の写真の前で記念撮影♪最初だからみんな表情がたいたいな?

部屋の外には広大な景色!

メタバースとは・・・

インターネット上の仮想空間で、アバターを使って自由に活動したり、コミュニケーションをとったりできるサービスです。

アバター

メタバース空間で自分の分身として使用するキャラクターのことで。

パソコンを使って、参加します。

パソコンを使って、参加します。

QRコード

8月23日(土)朝日新聞より AIに関する記事の多さ

- 1面,23面; 「結婚」相手はAI 実態なくても「幸せ」

対話型の生成AI(人工知能)に「愛着がある」と答えた人の割合は 67.6%—。中にはAIに恋をし、「結婚」した女性もいる。

- 6面; AI がニュース要約

もっと多角的に 興味の橋増やす

- 7面; eスポーツ大国へ 覇権狙うサウジ

大会7週間 選手2000人超賞金総額100億円

自室まで配達 自動ロボット 2026年度中の実用化を予定している

- 15面; AIの倫理学 著; M・クーケルバーク 著; カズオ・イシグロ【クララとお日さま】

中国で開かれた人型ロボット運動会サッカーの試合ではボールを追いかけた

- 21面; 「闇バイト」に注意

大学生が啓発動画「捨て駒にされ、人生が台無しになる」を制作した。

- 23面; 「富岳」後継 米大手も参画

2030年の稼働をめざす日本の旗艦スーパーコンピューターの開発に米半導体大手のエヌビディアが参画する。エヌビディアは「富岳」の100倍の実用性能をめざす。